

『毎日新聞』が変態ニュースを世界へ配信、その顛末は??

驚きの『日本紹介』が毎日新聞社の海外向けウェブサイトとして9年間に渡り世界へ向けて配信され続けてきました。ほんの一例を紹介します。

- ◆日本では小学生にも売春婦の仕事がある
- ◆日本では受験生の集中力を増すために母親は息子の性的欲望を解消する
- ◆日本人の若い女性はファーストフードを食べると性狂乱状態になる
- ◆日本人の主婦は皆コインランドリーで売春をしている

等々・・・この調子で9年分、とても大手新聞社の記事とは思えないものばかりです。

毎日新聞英語版はインターネット検索サイト大手の Yahoo!で「Japan News」と検索すると日本の新聞社としては最初に表示される事も有り、月に260万人もの外国人が閲覧していた人気サイトでした。

毎日新聞社と言えば発行部数『世界第3位』の超大手新聞社で、その発行部数はあのニューヨークタイムズ紙の3倍にもものぼります。そのため、信用に足る日本の新聞社の日本紹介の記事として、多くの外国人学生や親日家が閲覧しており、これらの記事を参考に日本の女子高生はふしだらであるかのように描いたハリウッド映画が作られたり、『日本人の少女を違法に買春するための手引』として毎日新聞の記事を引用しているサイトが多数確認されています。

毎日新聞社はネット世論からの批判をうけて問題の記事を削除、25日朝刊には本紙右上の**謝罪文を掲載**(※)し、『**監督責任を含め嚴重に処分する方針**です。』と表明しましたが、全く困った事に毎日新聞社は翌26日の株主総会で、該当部署の最高責任者である朝比奈豊氏を代表取締役社長に長谷川篤氏を取締役へ**昇進**させています。

※：謝罪の結果行ったのは削除だけで記事の訂正や既に広まった風評に対する責任については一切触れていません。

英文サイトのコラム
読者におわびします
毎日新聞社の英文サイト「毎日デ일리ニュース」の「内容が低くはないか」などの批判が寄せられ、英文毎日編集部は記事の一部に不適切な内容があったと認め、削除しました。それを反省し、おわび致します。
「Wa i wa i」は国内の週刊誌などを引用し、日本の社会や風俗の一端を紹介するものであります。その後「Wa i wa i」を根本的に見直すことにし、6月1日、同コラムを閉鎖。毎日デ일리ニュースのサイト上でも毎日新聞の総合情報サイト「毎日」上で日本語と英語による経過説明とおわびを掲載しました。内部で調査を続けていますが、監督責任を含め嚴重に処分する方針です。毎日新聞社は皆様のご意見を真摯に受け止め、今後、信頼されるウェブサイトの編集、制作に努めてまいります。

この問題に興味を持たれた方は、パソコン又は携帯電話で『毎日新聞 変態』で検索して見て下さい。